

令和4年度 事業計画書

自 令和4年4月 1日
至 令和5年3月31日



社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会

令和4年度 鹿屋市社会福祉協議会 事業計画

【基本方針】

今日の人口減少・少子高齢化の進展，新型コロナウイルス感染症の影響の長期化などにより，地域社会においては，人と人とのつながりの希薄化や生活の困窮，地域住民の孤立など複合化・複雑化した様々な問題が発生している中，地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会は，国が提唱する「地域共生社会」の実現に向けた協働の中核を担う組織として，今後ますます重要な役割を担うことが期待されています。

このような状況の中，本会では，地域住民が主体的に地域生活課題を把握して解決を試みる体制づくりやこれらの課題を包括的に受け止める体制の構築，総合的な権利擁護支援の充実，福祉教育やボランティア活動の推進など，本年度も住民組織や関係機関・団体，ボランティア，専門機関などと連携・協働し，地域共生社会の実現に向けた各種事業や活動を積極的に取り組んでいきます。

一方，新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会・経済への甚大な影響を鑑み，コロナ禍において顕在化した新たな地域生活課題や生活困窮の問題への対応など，こうした喫緊の諸課題に取り組んでいきます。

また，介護保険事業の見直し方針に基づく効果的で効率的な介護サービス事業の運営に努めていくとともに，厳しい財政状況のなか，事業評価や財政の健全化などに鋭意努めながら，組織・財政の基盤をより強化し安定した経営を行っていきます。

本年度は，地域共生社会の実現を目指し，地域づくりが主要な政策課題の時代になった今，地域福祉を推進する中核的な団体としての使命を果たすため，本会役職員が一丸となって，次の重点目標を掲げて事業を推進していきます。

【重点目標】

- 1 組織・財政の基盤・強化（総務課）
- 2 地域福祉活動の推進（地域福祉課，各支所）
- 3 権利擁護推進センターの円滑な運営（在宅福祉サービス室）
- 4 障がい者基幹相談支援センターの関係機関との連携強化（在宅福祉サービス室）
- 5 市指定管理施設の適正な管理運営と利用促進（総務課，輝北支所）
- 6 介護保険事業の効果的・効率的な運営（在宅福祉サービス室）

第1 総務課（所管事業）

1 法人運営事業の実施

（1）理事会や評議員会等の開催

法人の業務を適切に執行するため、理事会や評議員会等を開催します。

- ① 理事会（6月・11月・3月）
- ② 評議員会（6月・11月・3月）
- ③ 正副会長会（5月・11月・3月）
- ④ 評議員選任・解任委員会（6月）

（2）監事監査等の実施

法人の適正な運営を確保するため、監事監査等を実施します。

- ① 監事監査（5月）
- ② 【新規】監事による業務執行調査（5月）

（3）事務事業の見直しと改善

効果的で効率的な業務を実施するため、事務事業の見直しと改善に努めます。

- ① 事務事業検証作業の実施（7月～8月）
- ② 予算ヒアリング（次年度事業内容や予算）の実施（10月～12月）

（4）財務会計事務の適正な執行

持続可能で健全な法人運営のため、財務会計事務の適正な執行に努めます。

- ① 経理規程等に基づく適切な経理事務の執行
- ② 社会福祉法人会計指導業務の委託（公認会計士）
- ③ 組織的な管理体制による不祥事の防止（出納業務のチェック機能の強化、内部監査の実施等）
- ④ 適正な計算書類（資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表）等の作成、公表
- ⑤ 財産の適正な管理と効率的な運用
- ⑥ 【新規】財務状況の把握と経営分析、改善
- ⑦ 財源の安定的確保と経費削減の推進
 - ア 公的財源の確保（補助金、受託金等）
 - イ 自主財源の確保（会費、寄附金、共同募金配分金等）
 - ウ 民間財源の調査と有効活用（各種財団助成金等）
 - エ 効果的な経費節減の推進（事務所費等）

（5）広報啓発の推進と強化

広く市民に社協事業・活動などの周知と見える化を図るため、広報啓発の推進と強化に努めます。

- ① 社協だよりの発行（年4回 [4月・7月・10月・1月]，カラー12頁，町内会全戸配布）
- ② 社協ホームページの更新等（随時）
- ③ フェイスブック等SNSを活用した広報啓発（随時）
- ④ マスコミ（新聞，雑誌，ラジオ等）を積極的に活用した広報啓発（随時）
- ⑤ 社協のしおりの配布（随時）

- ⑥ 各種イベント，市内大型店舗等で社協事業活動等紹介パネル展の実施（随時）

（6）適切な労務管理の実施

長期化するコロナ禍において、全ての職員が心身共に健康で、働きやすい職場環境を創出するため、適切な労務管理の実施に努めます。

- ① 労働法制等に基づく職員の適切な労務・健康管理の遂行
- ② 労務管理等に関する相談と助言の委託（社会保険労務士）
- ③ **【新規】情報通信技術を活用したテレワークの環境整備やWEB会議システムの活用推進等**
- ④ 職員健康診断、ストレスチェック等の実施
- ⑤ 産業医業務の委嘱（医師）、産業医による職場巡視と健康指導の実施、衛生委員会の開催
- ⑥ 新型コロナウイルス感染対応マニュアル等に基づく感染防止対策等の徹底

(7) 職員の確保と人材育成

法人の運営と業務推進のため、職員の安定的な確保と効果的な人材育成に努めます。

- ① 退職に伴う職員の確保と職員採用試験の実施
- ② 管理職・中間職・新任職の階層別研修の実施等による人材育成（随時）
- ③ 資格取得（社会福祉士や介護福祉士等）の勧奨、支援（随時）

(8) 役職員等研修の実施

専門的知識や技術等を習得するため、役職員を対象に研修を実施します。

- ① 県社協等外部機関・団体主催の研修会、セミナー、講習会等への参加（随時）
- ② 理事・監事・評議員・職員研修会の実施（11月）
- ③ 職員全体研修、各課(室)・支所内職員研修等の実施（随時）

(9) 社協会員制度の周知と加入促進

地域福祉の推進のために必要な財源を確保するために、会員規程に基づき、社協だより等に掲載するなどし、社協会員制度の周知と会員加入促進に努めます。

- ① 一般会員（各世帯）（6月）
- ② 団体会員・特別会員（企業・団体及び施設等）（7月～8月）

(10) 社協表彰の実施

社会福祉功労者・団体等に対して、感謝と敬意を表すとともにその功績を称えるため、社協表彰を実施します。

- ① 鹿屋市ふれあい健康福祉まつり表彰式典で表彰状と記念品等の贈呈（10月）
- ② その他、多額寄付者・団体等へ感謝状の贈呈（随時）

(11) 地域公益事業の実施

社会福祉法人の地域における公益的な取組の一環として、市民の健康増進や生活困窮者支援のため、各種取組を実施します。

- ① 各種健康講座の実施（5講座×3回）（7月～11月）

(12) 福祉・医療等専門職育成の支援

福祉・医療等専門職を目指す学生のため、福祉系大学や看護専門学校からの実習生を受け入れ、その育成を支援します。

- ① 社会福祉相談援助実習や看護学実習の場を提供（随時）

(13) 鹿屋市民生委員児童委員協議会の事務局業務の受託

社協事業・活動と連携を強化するため、鹿屋市民生委員児童委員協議会の事務局業務を受託します。

- ① 会務（総会、役員会、地区会長会等）の運営と各種研修会等の実施
- ② 関係機関・団体等との連絡調整

(14) 関係機関・団体等との連携、協調

地域福祉を推進する中核的な団体として、様々な関係者や組織・団体等との連携・協調に努めます。

2 社会福祉施設の管理運営等

(1) 社会福祉会館事業の実施（本会所有施設）

地域福祉事業等の推進及び社会福祉団体等の福祉活動の拠点施設として、施設の管理運営と利用促進等に努めます。

- ① 施設の管理運営と利用促進等
 - ア 適正な管理運営と利用促進
 - イ 会議室・事務室の施設提供
 - (ア) 会議室：社会福祉を目的とする機関・団体等
 - (イ) 事務室：鹿児島県社会福祉協議会福祉人材・研修センター（鹿屋市駐在）
おおすみ障害者就業・生活支援センター
肝属保護区保護司会（更生保護サポートセンター）

(2) 市民交流センター福祉プラザ管理運営事業の実施（市指定管理事業）

高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が健康でいきいきと自立した生活を営み、社会参加活動を行うとともに、誰もが気軽に交流を深めることができる地域福祉活動の拠点施設として、施設の管理運営と利用促進等に努めます。

- ① 福祉プラザの管理運営と利用促進
 - ア 適正な管理運営と利用促進
 - イ 施設利用団体の登録管理、新たな掘り起こし（随時）
 - ウ 福祉プラザ利用登録団体連絡会の開催（年1回）
- ② 福祉プラザに関する情報の提供
 - ア 福祉プラザ通信の発行（隔月1回、町内会回覧及び各公共施設等へ配布）
 - イ 施設案内リーフレットの配布（随時）
 - ウ 社協だよりや社協ホームページ等を活用した情報提供（随時）
- ③ 施設利用等に関する調査
 - ア アンケート調査箱の設置
 - イ 施設利用者満足度調査の実施
- ④ 高齢者の健康増進
 - 高齢者入浴サービスの実施

(3) 輝北ふれあいセンター管理運営事業の実施（市指定管理事業）〔輝北支所〕

社会福祉等の増進を図り、地域間の交流及び地域の活性化に資するための拠点施設として、施設の管理運営と利用促進等に努めます。

- ① 輝北ふれあいセンターの管理運営と利用促進
 - ア 適正な管理運営及び利用促進
 - イ センター運営協議会の開催（年2回）
- ② 輝北ふれあいセンターに関する情報の提供
 - ア 輝北ふれあいセンターだよりの発行
（年2回以上、輝北地域全戸配布及び各公共施設等へ配布）
 - イ 輝北ふれあいセンター案内リーフレットの配布（随時）
 - ウ 社協だよりや社協ホームページ等を活用した情報提供
- ③ 施設利用に関する調査
 - 施設利用者満足度調査の実施
- ④ 市民等の健康増進
 - 妙見温泉を活用した公衆浴場事業の実施
- ⑤ イベントの実施
 - ア 輝北福祉ふれあいフェスタの開催（年1回）
 - イ 輝北ふれあいセンター杯グラウンドゴルフ大会の開催（年2回）
- ⑥ 施設の利便性向上と交流促進
 - ア 関係機関等と連携、提携した地元農産物等の販売（きほくやすらぎ市場）
 - イ 地元農産物等を使用した昼食の提供（きほくやすらぎ食堂）

3 介護サービス事業の実施（介護保険事業、障害者居宅介護事業）

〔在宅福祉サービス室（本所分室）・輝北支所〕

社協介護事業所の公益的使命を深く自覚しながら、介護を必要とする高齢者や障がい者が尊厳を持って、本人の有する能力に応じ、可能な限り住み慣れた地域で安心して自立した日常生活を送れるよう支援します。

(1) 事業の内容

- ① 介護保険事業（根拠法令：介護保険法）

事業名	事業内容／事業所設置場所
ア 訪問介護事業	自宅で入浴、排泄、食事等の介護及び清掃、買い物等生活援助サービスの提供／本所分室
イ 訪問入浴介護事業	専用の浴槽やボイラー等設備を装備した入浴車で自宅を訪問し、入浴介護サービスの提供／本所分室
ウ 居宅介護支援事業	居宅介護サービス計画書の作成等（介護予防支援及び住宅改修支援も含む）／本所分室・輝北支所
エ 介護予防・日常生活支援総合事業	介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型サービスの提供（要支援 1・2 の方及び市がチェックリストに基づき、事業対象者と判定された方）／本所分室

② 障害者福祉サービス事業（根拠法令：障害者総合支援法）

事業名	事業内容／事業所設置場所
ア 居宅介護事業	自宅で入浴，排泄，食事等の介護及び清掃，買い物等生活援助サービスの提供（身体・知的・精神障がい者）／本所分室
イ 重度訪問介護事業	自宅で入浴，排泄，食事等の介護及び清掃，買い物等生活援助サービスの提供（重度の身体・知的・精神障がい者）／本所分室
ウ 同行援護事業	移動に必要な情報の提供，移動の援護等の外出支援サービスの提供（視覚障がい者）／本所分室
エ 移動支援事業	通院，買い物，習い事，散歩等外出支援サービスの提供（身体・知的・精神障がい者）／本所分室
オ 障害者等訪問入浴サービス事業	専用の浴槽やボイラー設備を装備した入浴車で自宅を訪問し，入浴サービスの提供（身体障がい者（児））／本所分室

(2) 介護等職員の研修会の実施

① 内部研修等の実施

- ア 事業所全体の月例研修，事業所毎の専門研修等
- イ 介護事業所管理者会議

② 外部研修への参加

- ア 県社協，県介護支援専門員協議会等主催の研修会等

(3) 関係機関・団体との連携

① 介護保険事業における関係機関・団体との連携

- ア 鹿屋市高齢福祉課介護保険係・鹿屋市地域包括支援センター
- イ 市内介護保険関連事業所，医療機関
- ウ その他関係機関・団体

② 障害者福祉サービス事業における関係機関・団体との連携

- ア 鹿屋市福祉政策課障害福祉係
- イ 市内特定相談支援事業所，医療機関
- ウ その他関係機関・団体

(4) その他

介護保険事業見直し方針に沿った円滑な移行

4 権利擁護推進センター事業の実施〔在宅福祉サービス室〕

高齢者や障がい者等で判断能力や意思決定能力が不十分な方を対象に，福祉サービス利用支援事業や成年後見業務を実施して，高齢者や障がい者等の自立支援や権利擁護に努めます。

(1) 権利擁護推進センターの運営

① 福祉サービス利用支援事業の実施

- ア 福祉サービス利用支援専門員の配置
- イ 福祉サービス利用支援事業に関する相談及び情報提供
- ウ 県社協など関係機関・団体との連携

② 成年後見業務（法人後見業務）の実施

- ア 成年後見専門員の配置

イ 権利擁護推進センター運営委員会及び審査委員会の開催

ウ 家庭裁判所など関係機関・団体との連携

(2) 権利擁護推進センターに関する市民への広報啓発

- ① 社協だよりやパンフレットを活用した周知広報

5 障がい者基幹相談支援センター事業の実施〔在宅福祉サービス室〕

障がい者や障がい児，又はその家族等からの相談に応じ，必要な情報提供や支援を行うことなどにより，障がい者等が自立した生活を営むことができるよう努めます。

(1) センター開設の日時

月曜日～土曜日（8：30～17：00）

但し，祝日/年末年始（12月29日～1月3日）は除く

※上記開設日時以外は，代表電話から携帯電話に自動転送され，24時間体制を確保（原則，緊急を要する場合のみの対応）

(2) 業務の内容

- ① 障がい者相談支援事業（障がい者等・家族等を主な対象）
- ② 相談支援事業（障がい福祉関係者を主な対象）
- ③ 地域生活支援拠点等の整備に向けた各機能の仕組み作り
- ④ 肝属地区障がい者基幹相談支援センター運営協議会の運営
- ⑤ 肝属地区障害者自立支援協議会の運営
- ⑥ 肝属地区障害者虐待防止センターの運営
- ⑦ 肝属地区障害者差別解消支援協議会の運営
- ⑧ ピアサポーター活用事業（体験発表，個別支援，養成講座等）

(3) 実施区域

肝属地区2市4町（鹿屋市・垂水市・肝付町・東串良町・錦江町・南大隅町）

第2 地域福祉課（所管事業）

1 地域福祉活動の推進

(1) 重層的支援体制整備事業への移行準備事業（みんなで支え合う地域づくり推進事業）

すべての人々が地域・暮らし・生きがいを共に創り，高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指して，住民に身近な圏域で住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりや世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める総合的な相談体制を構築します。

① 地域力強化の取組

ア 住民に身近な圏域で地域生活課題を包括的に受け止める体制及び住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる環境の整備

(ア) 町内会区域等に「地域福祉協議会」を設立

(イ) 地域の関係者との連携による地域生活課題の早期把握

(ウ) 住民アンケート及び支え合いマップ等による地域ニーズの把握

(エ) 地域住民等に対する研修の実施

(オ) 地域づくりを推進する市関係各課との連携

- ② 多機関協働の取組
 - ア 複合的課題を抱える世帯の支援
 - イ 重層的支援会議の開催
 - ウ 相談支援機関のネットワーク構築
- ③ 本格的実施に向けた体制の整備

(2) ふれあいネットワークづくり事業の実施

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域の中で支援が必要な方を見守る体制を構築するとともに継続的に活動できるよう支援を行います。

- ① 高齢者等の見守り体制の構築及び支援
- ② 近隣福祉ネットワーク活動の支援〔輝北支所〕
- ③ 連絡会等の開催

(3) ふれあい・いきいきサロン事業の実施

住み慣れた地域に気軽に集える場所を作ることで、生きがいつくりや仲間づくりを行います。

- ① 高齢者サロンの推進
- ② サロン展及び研修会の開催
- ③ 男性サロンの設立促進
- ④ レクリエーション用具の貸し出し
- ⑤ 広報・啓発

(4) ドライブサロン事業の実施

自ら交通手段を有しない高齢者等に対し、買い物等の生活支援や、生きがいつくりを行うための交通手段を社会福祉法人と連携して提供します。また、社会福祉法人の地域貢献活動の推進について支援します。

- ① 生活支援型ドライブサロン事業の推進
- ② 生きがいつくり型ドライブサロン事業の推進

2 生活支援・介護予防体制の充実・強化

(1) やすらぎの里づくり支援事業の実施〔輝北支所〕

輝北ふれあいセンターを拠点施設に様々な取り組みや活動を展開することにより、住民の生きがいつくりや健康増進に努め、暮らしやすい地域社会づくりを目指します。

- ① 生きがいつくりの支援
 - ア やすらぎサロン事業（温泉を活用し、介護予防を兼ねた高齢者のデイサービス）の実施
 - イ 小中学生を対象とした長期休暇期間中の課題等の対策を兼ねた学習支援教室の開催
 - ウ 余暇善用のため趣味講座等を開催し、併せてセンターに趣味用具等を揃え活性化を図る。
- ② 健康づくりの支援
 - ア 高齢男性の自炊生活のための料理教室や生活習慣病の予防のための講演会の開催
 - イ 輝北地域の歯科医の協力による高齢者の介護予防のための歯科検診の実施
 - ウ 温泉の利用促進と健康づくりに役に立つ温泉入浴講習会の開催
 - エ **【新規】子育ての悩み解決や知識習得のための子育て講座の開催**
- ③ 生活基盤づくりの支援
 - ア 生鮮食料品や日用品等の買い物場所への送迎支援

イ 行政機関及び金融機関等への送迎支援

ウ 鹿屋市通所付添サポート事業（移動困難者への住民ボランティアによる移動支援）の実施

（2）福祉機器貸出事業の実施

① 車いすの無償貸出

3 総合相談事業の実施

市民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、適切な助言及び援助を行い、解決の糸口が見いだせるよう相談事業を実施します。

（1）心配ごと相談事業（一般相談）

毎週月～金曜日（祝日・年末年始は休み），午前9時～正午

（2）専門相談事業

① 税務・経営相談（毎月第1金曜日，午前9時～正午）

② 法律相談（毎月第2金曜日，午後1時～午後4時）

③ 財産・登記相談（毎月第2・3・4金曜日，午前9時～正午）

④ 終活相談（毎月第4木曜日，午前9時～正午）

4 ボランティア活動の推進

（1）ボランティアセンター事業の実施

他人や地域を思いやる「福祉の心」の醸成を図り、福祉に対する理解と関心を深め、ボランティア活動の推進やその環境づくりに努めます。

① 福祉教育の推進

ア 福祉イベント（ボランティアフェスティバル等）の開催

イ 福祉・ボランティア作文コンクールの実施

ウ ボランティア活動推進校における福祉教育の支援

エ 福祉体験出前講座の開催（地域・学校・企業等）

オ 福祉体験教材等の貸出（高齢者疑似体験セット，白杖，車いす等）

カ 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の実施

② ボランティアの育成

ア わくわくボランティア体験学習の開催（小学生高学年）

イ サマーボランティア体験学習の開催（中・高校生等）

ウ ボランティア養成講座の開催

エ 災害ボランティア養成講座の開催

③ ボランティアセンター機能の充実

ア ボランティアセンター運営委員会の開催

イ ボランティア活動に関する情報の収集及び提供

ウ ボランティアの需給調整

エ ボランティアバンクの整備

オ ボランティアの活動支援（ボランティア活動保険加入手続き等）

カ イベント等を通じたボランティアの啓発

(2) 【拡充】鹿屋市高齢者元気度アップ・ポイント事業等の実施

65歳以上の高齢者が行う健康づくりやボランティア活動に対して、ポイントを付与することにより地域貢献と社会参加を図り介護予防の推進に努めます。また、全ての年齢層の方が行う在宅高齢者の支援活動に対して、ポイントを付与することにより地域における高齢者支援の担い手の育成に努めます。

- ① 高齢者元気度アップ・ポイント事業等の普及啓発
- ② 高齢者元気度アップ・ポイント事業等の登録及び手帳の交付
- ③ 高齢者元気度アップ・ポイント事業等評価ポイントの付与及び管理並びに転換交付金等の交付
- ④ 高齢者元気度アップ・ポイント事業等フォローアップ研修会の開催（年2回）

(3) 鹿屋市高齢者地域支え合いグループポイント推進事業の実施

65歳以上の高齢者を含む団体のボランティア活動に対し、ポイントを付与して活動を活性化し、高齢者を地域全体で支えるよう取り組みます。

- ① グループの登録
- ② グループの活動促進及びグループの活動実績の把握
- ③ グループの事業評価ポイントの付与及び交換並びに転換交付金等の交付
- ④ グループの事業研修会の開催（年1回）

5 【新規】地域福祉推進計画の策定

今後の福祉ニーズや地域が抱える福祉課題に対する取り組みについて、計画的に推進するために、基本的な方向性や数値目標などを明記した3年から5年間の地域福祉推進計画を策定します。

- ① 社協内ワーキングチームによる検討会議の開催
- ② 住民アンケート調査、分析

6 災害救援活動の実施

(1) 災害救援活動支援事業の実施

鹿屋市内で災害が発生した際に、市役所・県社協・鹿屋青年会議所・大隅災害復旧ボランティア等と連携し、災害ボランティアセンターの設置・運営を行います。また、災害が発生した場合を想定した訓練を実施するとともに、平時から各種団体等との連携を図ります。

- ① 関係機関・団体との連絡会及び模擬訓練等の開催
- ② 関係機関・団体と連携した災害ネットワークづくりの推進
- ③ 社協・市役所・鹿屋青年会議所・大隅災害復旧ボランティアの4者による災害ボランティア研修会の開催
- ④ 県・市総合防災訓練等への参加（災害ボランティアセンター設置・運用訓練）

(2) 被災者支援事業の実施

火災や風水害等による被災者に対して、社協・共同募金・日赤から救援物資や金品等を贈ります。

(3) 被災地への職員派遣

大規模災害等により被災地で災害ボランティアセンターが開設された際、災害ボランティアセンターの運営を支援するため、災害時相互応援協定等に基づき職員派遣を行います。

7 障がい者の社会参加と自立支援

(1) 障害者社会参加促進事業の実施

障がい者の社会参加を促進する事業を実施し、障がい者の社会・経済・文化、その他あらゆる分野の活動への参加の促進を図ります。

- ① 手話奉仕員養成講習会の開催
- ② 点訳奉仕員養成講習会の開催
- ③ 音訳奉仕員養成講習会の開催
- ④ 要約筆記奉仕員養成講習会の開催
- ⑤ 点字・声の広報発行事業の実施

(2) 意思疎通支援事業（コミュニケーション支援事業）の実施

聴覚障がい者等が円滑な意思疎通を図れるよう意思疎通支援者（手話通訳者、要約筆記者）を派遣します。

- ① 意思疎通支援者の派遣
- ② 手話通訳者等専門研修会の開催（年1回）

(3) 福祉機器リサイクル事業の実施

車いすや特殊寝台など不用になった福祉機器を市民から無償で譲り受け、必要な方に無料で提供します。

8 子育て支援事業の実施

(1) 鹿屋市ファミリー・サポート・センター事業の実施

子育て中の保護者等が地域で安心して子育てができるよう、子育て機能の充実を図ります。

- ① アドバイザーの配置
- ② 会員の掘り起こし及び利用促進、会員間の調整
- ③ 新規登録会員への講習会の開催（年3回及び利用会員については随時登録）
- ④ 会員のフォローアップ講習会の開催（年1回）
- ⑤ 全体交流会の開催（年1回）
- ⑥ 会報の発行（年2回）

(2) つどいの広場“りな”事業の実施

乳幼児をもつ親とその子どもが気軽につどい、打ち解けた雰囲気の中で語り合い、相互の親睦交流と保育士による育児相談を行います。また、子育て関連のイベントや講習会を開催します。

- ① 子育てアドバイザーの配置
- ② つどいの広場“りな”の開設（子育て親子の交流、つどいの場の提供）
- ③ 子育て支援講習会の開催（月1回）
- ④ 子育てイベントの開催（2ヶ月に1回程度）
- ⑤ 子育て等に関する相談、援助の実施
- ⑥ りなっこだより〔“りな”に関する情報紙〕の発行（月1回）
- ⑦ 【拡充】利用者のニーズ把握（アンケート調査の実施）

(3) 子育てに役立つ情報の収集及び提供

9 広報啓発活動等の充実

(1) 福祉情報配信サービス事業の実施

地域福祉・ボランティア，子育て支援，医療・当番医，防犯・防災等の様々な情報をメールで配信します。

10 低所得世帯等の福祉の増進

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者・障がい者・高齢者の世帯に対し，資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより，世帯の経済的自立及び生活意欲の高揚の促進を図ります。また，新型コロナ特例貸付については，主として償還に努めるとともに新たな制度については柔軟に対応します。

- ① 生活福祉資金の相談，助言，貸付，償還指導
- ② 生活困窮者自立支援事業実施機関との連携
- ③ 償還促進月間の設定

(2) 小口資金貸付事業の実施

鹿屋市の住民で緊急かつ一時的に生活の維持が困難となった世帯に対し，資金の貸付を行います。

- ① 小口資金の相談，助言，貸付，償還指導
- ② 償還促進月間の設定

(3) 法外援護事業の実施

小口資金貸付など他法他施策により対応できない一時的に生活に困窮している世帯等に対し，現金を給付することで生活の安定と自立の促進を図ります。

(4) 生活困窮者食料支援事業の実施

生活に困窮し，食料に困っている世帯に対し食料支援を行うことにより，危機的状況を回避します。

- ① 生活困窮世帯への備蓄食料品の提供
- ② 食料支援に関する協定締結先からの食料品提供の調整
- ③ 生活困窮者食料支援の周知

(5) かがしまおもいやりネットワーク事業の実施

本会が加入している「かがしまおもいやりネットワーク事業」を活用して，福祉課題や生活課題を抱える地域住民等を対象に，経済的支援，相談支援，継続的な見守り等を実施します。

- ① 各関係機関との連携
- ② 世帯に対する相談支援
- ③ 世帯に対する物的支援
- ④ 支援実施後の見守り
- ⑤ 社会福祉法人等連絡会の開催

11 各種イベントの開催

(1) 鹿屋市ふれあい健康福祉まつりの開催

(2) 各支所（吾平・輝北・串良）地域ふれあいフェスタの開催

1.2 共同募金運動の実施

- (1) 共同募金（10月1日～12月31日）
- (2) 歳末たすけあい募金（12月1日～12月31日）

1.3 共同募金・歳末たすけあい募金配分金事業の実施

共同募金・歳末たすけあい募金を財源に町内会やボランティア団体等へ助成することで、地域福祉活動の推進を図るとともに、共同募金・歳末たすけあい募金に対する市民の理解の促進と募金活動に対する意識の高揚に努めます。

(1) 共同募金配分金事業の実施

共同募金配分金を財源に助成事業等を実施することで、地域福祉活動の推進を図ります。

- ① 福祉団体等への助成
- ② 町内会やボランティア団体等への公募型助成
- ③ 敬老の日祝品贈呈
- ④ 児童・生徒への学習支援
- ⑤ **【新規】** 地域福祉協議会への運営費助成
- ⑥ 広報啓発活動

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業の実施

歳末たすけあい募金配分金を財源に年末年始に地域で行われる活動等に対して助成を行うとともに、年末年始を安心して暮らせるよう支援を行います。

- ① 歳末たすけあい見舞品贈呈
- ② 地域歳末たすけあい公募型助成
- ③ 児童施設への歳末見舞金贈呈
- ④ ふれあいサロン等地域福祉活動支援
- ⑤ **【拡充】** 生活困窮者支援
- ⑥ 広報啓発活動

(3) 各種イベントの開催

共同募金の普及広報啓発を目的としたイベントを開催します。

1.4 日本赤十字社会員増強運動の実施

5月を中心に「赤十字社員増強運動月間」として、日本赤十字社鹿児島県支部と連携を図り、町内会や企業・団体等への会費募集や周知広報を行います。

- (1) 戸別会費，職域会費募集
- (2) 協賛委員による会費募集
- (3) ダイレクトメールによる会費募集
- (4) 啓発活動

1.5 福祉団体等の育成援助

- (1) 各種福祉団体等の運営支援